

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和5年第21週の発生動向

□ トピックス

・ヘルパンギーナ(定点把握対象疾患)：第21週(5/22~5/28)の定点当たりの報告数が8.9となり、今年初めて流行警報レベル開始基準値(6)を超えた。過去に流行警報レベル開始基準値を超えた2017年(第30週)、2016年(第28週)と比較して早い時期での基準値超えとなっている(2018年から2022年は該当週なし)。詳細後述。

□ 全数報告の感染症(21週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。2類感染症：結核2例。
 3類感染症：報告なし。4類感染症：日本紅斑熱1例。
 5類感染症：後天性免疫不全症候群1例、侵襲性肺炎球菌感染症2例、梅毒5例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	日南	70歳代	男	疑似症患者	呼吸困難
		日向	80歳代	女	肺結核	咳、痰、発熱
4類	日本紅斑熱	宮崎市	60歳代	女	—	発熱、頭痛、刺し口、発疹、肝機能異常、食欲不振、倦怠感
5類	後天性免疫不全症候群	宮崎市	50歳代	男	AIDS	発熱、後腹膜悪性腫瘍 【指標疾患】 ・非ホジキンリンパ腫
	侵襲性肺炎球菌感染症	都城	50歳代	女	—	頭痛、発熱、嘔吐、菌血症
		高鍋	90歳代	女	—	肺炎
	梅毒	宮崎市	10歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹
			20歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結
		都城	30歳代	女	無症状病原体保有者	なし
			30歳代	女	無症状病原体保有者	なし
小林	20歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結、鼠径部リンパ節腫脹		

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は1,422人(定点当たり33.6)で、前週比123%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、手足口病及びヘルパンギーナで、減少した主な疾患は咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び感染性胃腸炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【新型コロナウイルス感染症】

報告数は192人(3.3)で、前週比143%と増加した。高千穂(24.0)、日向(4.0)、小林(3.3)保健所からの報告が多く、年齢群別は別グラフに示す。

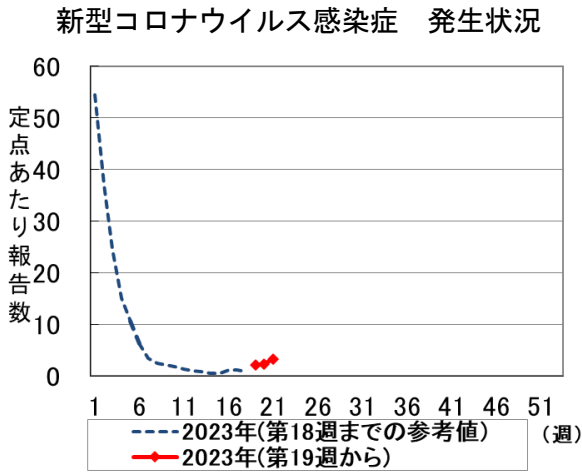
【インフルエンザ】

報告数は410人(7.1)で、前週比156%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.19)の約36.4倍であった。小林(24.0)、都城(18.9)、日南(7.4)保健所からの報告が多く、年齢群別は15歳未満が全体の約8割を占めた。

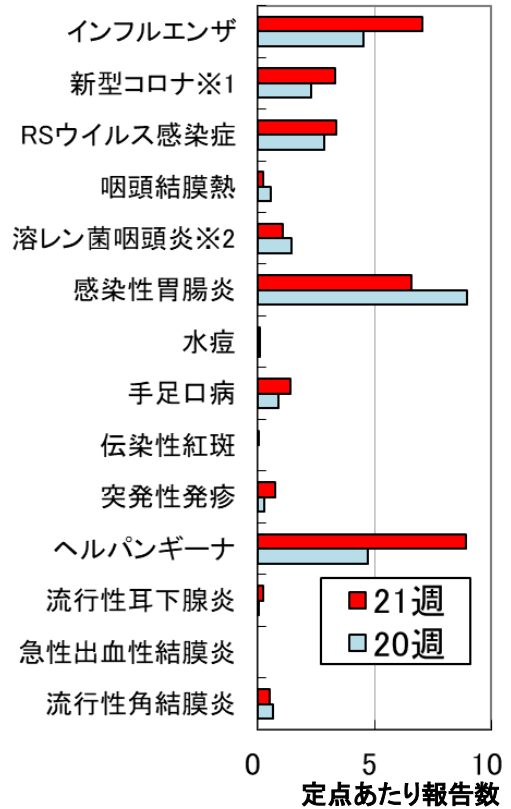
【ヘルパンギーナ】

報告数は321人(8.9)で、前週比189%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.77)の約11.6倍であった。中央(16.0)、宮崎市(15.7)、延岡(8.3)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から4歳が全体の約8割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

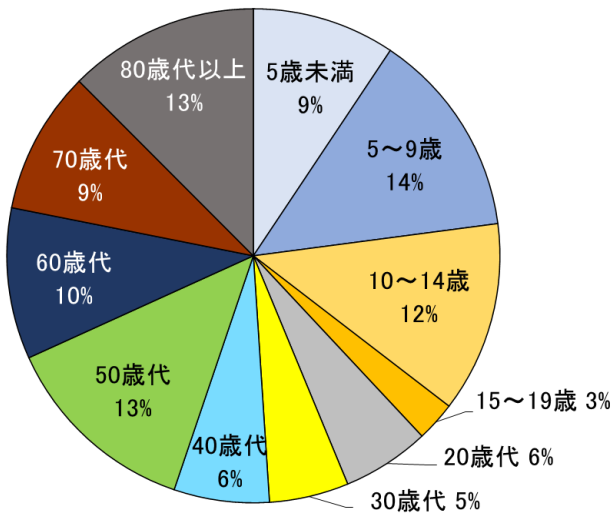


《前週との比較》



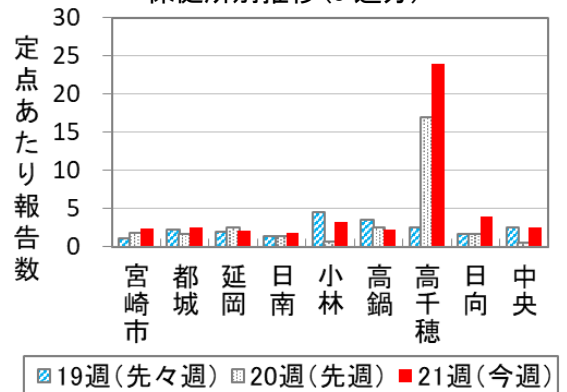
※1 新型コロナウイルス感染症
※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

新型コロナウイルス感染症年齢群別グラフ(第21週)

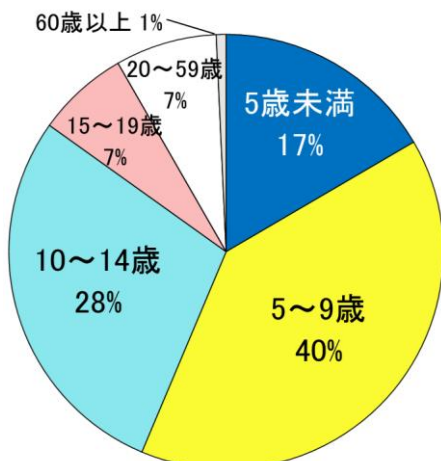


※新型コロナウイルス感染症の第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

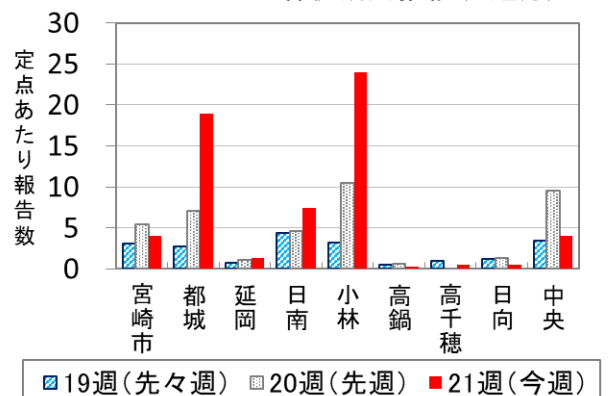
新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)

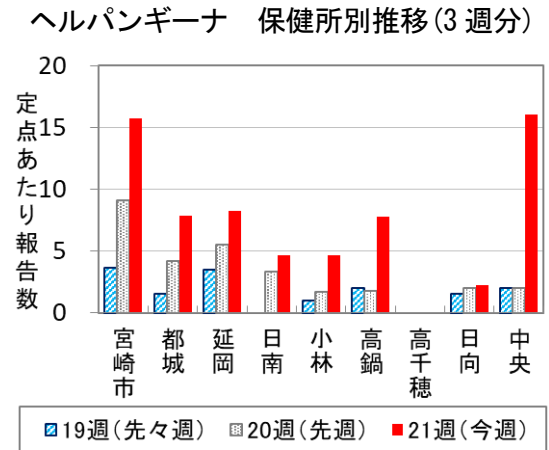
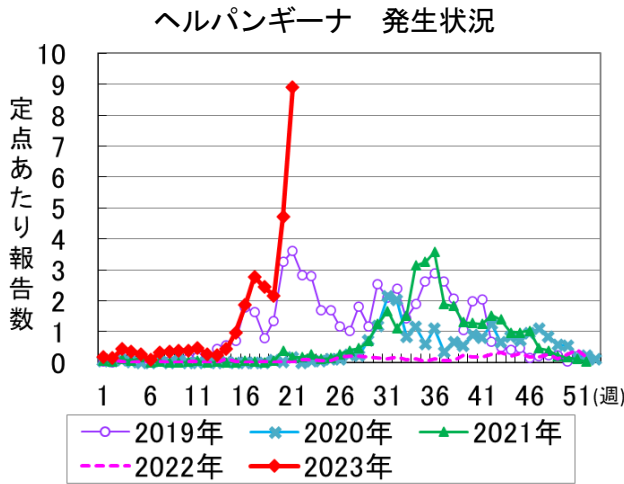


インフルエンザ年齢群別グラフ(第21週)



インフルエンザ 保健所別推移(3週分)





★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	ヘルパンギーナ(15.7)
都城	インフルエンザ(18.9)、ヘルパンギーナ(7.8)
延岡	ヘルパンギーナ(8.3)
日南	なし
小林	インフルエンザ(24.0)、感染性胃腸炎(21.0)
高鍋	ヘルパンギーナ(7.8)
高千穂	なし
日向	なし
中央	ヘルパンギーナ(16.0)

※流行警報レベル開始基準値※

- ・感染性胃腸炎(20)
- ・ヘルパンギーナ(6)

※流行注意報レベル基準値※

- ・インフルエンザ(10)

全国 2023 年第 20 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	217 例				
3類感染症	細菌性赤痢	2 例	腸管出血性大腸菌感染症	68 例		
4類感染症	E型肝炎	16 例	オウム病	1 例	回帰熱	2 例
	サル痘	14 例	重症熱性血小板減少症候群	5 例	つつが虫病	3 例
	日本紅斑熱	10 例	ライム病	1 例	レジオネラ症	35 例
5類感染症	アメーバ赤痢	5 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	16 例
	急性弛緩性麻痺	2 例	急性脳炎	16 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	4 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	11 例	後天性免疫不全症候群	13 例	ジアルジア症	2 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	6 例	侵襲性肺炎球菌感染症	41 例	水痘(入院例)	3 例
	梅毒	182 例	播種性クリプトコックス症	1 例	破傷風	1 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	百日咳	22 例	麻しん	5 例

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 130%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はRSウイルス感染症、ヘルパンギーナ及び流行性耳下腺炎で、減少した主な疾患は伝染性紅斑であった。

インフルエンザの報告数は 9,275 人(1.9)で前週比 139%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.22)の約 8.4 倍であった。新潟県(5.9)、山形県(5.6)、群馬県(4.5)、宮崎県(4.5)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 8 割を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は 2,276 人(0.73)で前週比 221%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.08)の約 9.1 倍であった。佐賀県(5.5)、宮崎県(4.7)、長崎県(2.6)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 4 歳が全体の約 8 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2023年 21週(05月22日～05月28日)

疾病名		第20週	第21週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	263	410	65	189	9	37	96	2	1	3	8
	定点当り	4.53	7.07	4.06	18.90	1.29	7.40	24.00	0.33	0.50	0.50	4.00
新型コロナウイルス感染症	報告数	134	192	38	26	15	9	13	14	48	24	5
	定点当り	2.31	3.31	2.38	2.60	2.14	1.80	3.25	2.33	24.00	4.00	2.50
RSウイルス感染症	報告数	103	121	52	13	4	1	6	21		13	11
	定点当り	2.86	3.36	5.20	2.17	1.00	0.33	2.00	5.25	0.00	3.25	11.00
咽頭結膜熱	報告数	20	9	5	1			1			2	
	定点当り	0.56	0.25	0.50	0.17	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.50	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	52	38	8	9	2	5		3		9	2
	定点当り	1.44	1.06	0.80	1.50	0.50	1.67	0.00	0.75	0.00	2.25	2.00
感染性胃腸炎	報告数	322	237	43	54	8	21	63	17	1	19	11
	定点当り	8.94	6.58	4.30	9.00	2.00	7.00	21.00	4.25	1.00	4.75	11.00
水痘	報告数	4	3			1	1		1			
	定点当り	0.11	0.08	0.00	0.00	0.25	0.33	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	32	51	24	14		6	3	1		1	2
	定点当り	0.89	1.42	2.40	2.33	0.00	2.00	1.00	0.25	0.00	0.25	2.00
伝染性紅斑	報告数		1	1								
	定点当り	0.00	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	10	27	13	4	1		5	3		1	
	定点当り	0.28	0.75	1.30	0.67	0.25	0.00	1.67	0.75	0.00	0.25	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	170	321	157	47	33	14	14	31		9	16
	定点当り	4.72	8.92	15.70	7.83	8.25	4.67	4.67	7.75	0.00	2.25	16.00
流行性耳下腺炎	報告数	1	9			1			6		1	1
	定点当り	0.03	0.25	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	1.50	0.00	0.25	1.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	4	3	3								
	定点当り	0.67	0.50	1.00	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2023年 第1週～21週)

2類感染症	結核	49例(2)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	4例	腸チフス	1例
4類感染症	重症熱性血小板減少症候群	5例	つつが虫病	10例
	レジオネラ症	1例	日本紅斑熱	2例(1)
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	4例
	急性弛緩性麻痺	1例	急性脳炎	3例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4例	後天性免疫不全症候群	4例(1)
	水痘(入院例)	1例	梅毒	77例(5)
	百日咳	4例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1例
			クロイツフェルト・ヤコブ病	2例
			侵襲性肺炎球菌感染症	7例(2)
			播種性クリプトコックス症	3例

()内は今週届出分、再掲